戲曲

愁夜小曲（一幕）

ベンナ　古澤竹窓

時　現代、自午後七時至九時
場所　C町に近きブラジルの某殖民地

人物

高田良一　廿四才　有識勞働者
白井健吉　廿七才　地主の息子
原由美子　十九才　（白井のコロノの娘）

舞台

室内左側花道の傍らに戸をたて中央にテーブルをすえ、その上に點火したカンテラと編物用の糸に針、雜し二三册と花びんを置き、周りに二三のイスを置く、上手の入口の側に等身大の食器だなをすえる、由美子テーブルの右に掛け手紙を讀みながら不安な表情でうつむく。（開幕）

由美子（顔をあげ戸の方を見て）父さんや實さんはどうしてこんなに遲いだらう、（手紙を机上に置いて立つて行き戸を開けて首だけ出して外を見る）間。（戸を閉めて又元の席に復り手紙を見ながら嫌さうな面で）困つて了ふ私何うしたら好いか判らない、（溜息をつく、沈默）間。

良一　死のと生よと何れは一如
水の流れと人の身は
流れ〳〵てはて……

（良一の小唄が微かに聞ゑたので由美子は喜に滿ちた表情になつて花道の方を見る）

花道から良一登場。

良一（快活さうに戸を叩き乍ら）今晩は、

由美子（立ちあがり乍ら笑顔で）今晩は（戸を開けて）お這入りなさい、（戸を閉める由美子と良一は視線が合つてニッコリ笑ふ、由美子は元の席に良一は反對側の席に對坐する）間。

良一　父さん方は何處へ

由美子　實がマラリヤで却々癒りませんので、今朝パトロンと一緒に實を連れて母さんも、今日早く歸ると云つてC町の醫者迄行きましたが、未だに歸りませんので心配して居ます

良一　ほんとうに歸りが遲いね、（間）何か變つた事でも有るんじやないかな、實さんは非道惡かつたんですか

由美子　否ゑ、大した事ではなかつたんですが、餘り永く快くならないので行つたんです（間）貴方窮屈にしないで悠つくり遊んで行つて下さい、私コーヒーを出して參りますから（立上る）

良一　まア、構はないで下さい

由美子　否ゑ、別に（云ひ乍ら上手の方に退場）

良一は所在なさそうにモジ〳〵して居たがテーブル上の手紙を一寸見て不快そうな表情をして立ち上る、そして上手の方を見て

良一（少し声高く）由美さん、今晩はこれで失禮します

由美子急いで登場

由美子　貴方、何うしたんですか突然けに、コーヒも直ぐ出ますから悠つくりして行つて下さい誰にも遠慮のない家ですから、此間教へて下さつた旅人の唄を教へてね—まア坐つて悠つくりして下さい

良一靜かにイスに掛ける、由美子上手に向つて退場（間）由美子カフェを持つて登場

由美子　コーヒをお取りなさいませ（盆にのせて差出し良一の顔を見つめる）まア、貴方は（良一の顔を見て身を慄はす）あゝ厭だ、貴方は何うしてそんな冷たい眼をしていらしやいますか（少し俯いて）どうしたんですか何時になる

良一は先刻のまゝカフェを飲まず冷やかな眼で由美子を見る　（つゞく）

川柳でたらめ

日生

のらくら女餓鬼を囚の書寢かな
どなつて見たが御亭主鍋をさげ
外套を脊からかけてポンと打ち
丸く掃く花嫁亨主よそを向き
肘鐵やでも忘れ得ぬ人の好さ

愚弄

バウル　駒井不二夫

「いゝね何時でも宜かつたのに貴方」
大抵の人は
金を返しに行くと定まつた様に
こう言ふ
それだのに
少し遲れでもしようものなら
飼猫に逃られた様な口惜さを感じ乍ら
聞かれもせぬ様な惡口を言ふ
痛ましい屈辱者への愚弄よ

× × ×

「もつと早くと思ひましたが遂々遲くなりまして」
大抵の人は
金を返す時定まつた様に
こう言ふ
それだのに
出來る丈長くひつぱつて居て
二三度催促でもされ様ものなら
飼主の手に嚙付く犬の様な
矛盾した憤激を覺ゑ乍ら
聞かれもせぬ様な惡口を言ふ
ゆるやかな恩惠者への愚弄よ

浪にゆられて

浦戸

月明に美しい靜寂の海を
夜の潮を嚙んで船は唯走る
船路遙かに月青く
煙りて遠ざかる故郷の山
スクリューに卷き走る白泡は
青白い海面にうね〳〵と長い
故郷の唄高らかに歌へば
マストに鳴る海風もそゞろに寒い
月光に夢見る海上を
默々として
波を蹴つて船は唯走る

美少年の悲しみ

知らぬ國、見知らぬ人
それ等は彼を悲しくした
あゝあの皎々たる月明よ
彼が故郷で樂しんだあの月は
今は滿身に浴びて
長い旅路の夜の友となつた
マストに響く海風も
甲板をかすめ飛ぶ白き鷗も
彼に話すが如く吹き去つた。

△　△　△

童話

母性の愛（一）

島貫武男

（ジョルナル、ド、ブラジルより譯）

或る時牡獅子と牝獅子は自分等の子供が飢に泣くので森林へ餌を探しに行きました。その日は運惡く何一つとして獲物が出て來ませんでした。山中の獸は申し合せたん様に隱れてゐました。隨分尋ね廻つた揚句、牡獅子は牝獅子に向つて言ひました。

「ずつと向ふの岡の後側には牝羊の叔母さんが住んでゐる。こゝで別れてお前は此方を尋ねて行き私は彼方を探ね乍ら行く事にせう そして牝羊さんの家で落逢ふ事にしやう」

お互に各々異つた方向へ進んで行きました。牡獅子は歩き續けて行く中に遂々牝羊の家の庭の入口迄着いてしまいましたが何一つ獲物がありませんでした。そこで牡獅子は入口の戸を叩きますと牝羊は出て來ました。

「やあしゝさんですか。何んとよい日ではありませんか。まあお入り下さい」と牝羊は陽氣に言ひました。そこでしゝは言はれる儘入つて行きました。

「お前さんは今宜い日と言つたが私には悲しい日だと思ひます」

「オホー空は青く太陽は輝いてゐるのに何故ですか」

「私には空や太陽に何の關はりがありません」

「馬鹿に御機嫌が惡いのですね」

「笑ひ事ではない何も食物のないあの私の家で子供等が飢に泣いゐるのを知つてゐてどうして陽氣になれますかい」

「否ゑ、私は持つてゐる物を貴方に提供しようとするのです」

「一片の肉でよいが貴女の家にはありませんか、ありませんか」

「有りません、そんな物は此處にはありません」

沈默が續きました。牡ジ子はやがて恐しい顔になりました。

そこで牡ジ子は「貴方の家は裕福である、食べる物は何もありませんか」と云ひました。

「氣の毒ですが何もありません私共は貴方々とは大變に生活の様式が違ひます、貴方は肉丈しか食べませんが、私は菜食です、若し美味しい草が御入用でしたら遠慮なくお食べ下さい」

「貴女はふざけて居るのですか」

「否ゑ、私は持つてゐる物を貴方に提供しようとするのです」

「一片の肉でよいが貴女の家にはありませんか、ありませんか」

「有りません、そんな物は此處にはありません」

沈默が續きました。牡ジ子はやがて恐しい顔になりました。

Hotel Progresso
澤尾旅館
バウルウ驛前
澤尾磯七

Armazem
ITOW GUENTO
貸自働車は毎日驛に參上致して居ります
雜貨商
伊藤元登
北西線プロミツソン驛
ポンセツソ　郵函一〇三

代書人　公證人
A. A.
第二カルトーリオ（公證役場）
日本人諸君の代書公證の御求めに應ず
バウル市ルイバルボーザ廣場（公園廣場）二ノ三〇
サイ判所近く
電話　五

アルマゼン
農産物
上田商店
ノロエステ線
プ、アルベス驛眞前

AUTOMOVEL
シエブロレー
貸自働車
毎日驛に參上致して居ります
渡邊善次
北西線プロミツソン驛
ソン驛ゴンザガ區
郵函……二〇番

Hotel Oriental
Armazem de Seccos e Molhados Bebidas
Caixa, 47　Tel. 81
Est. PROMISSÃO
東洋旅館
並に平田商店
北西線プロミソン驛
館主　平田千嘉藏

CASA NISHIMOTO
Armazem
雜穀買仲
薄利多賣と親切と御便利とは本店のモットオであります
西本商店
ノロエステ線
アラサツーバ驛　郵函二〇八
アグワリンバ

Casa Anse
Armazem e Machina de Beneficiar Café
商穀
カフエ精選所
安瀨商店
北西線　ビリグキ植民地
アグワ、リンバ區
Agua Limpa
Biriguy

日本品　小間物、內外洋酒類
雜貨金物
雜穀仲買
土岐兄弟商店
ノロエステ線ビリグキ町
郵函　二二四
電話　一番
三共商會取次賣捌所

K
三共商會
ストンサ
ルア、セナドール　ダンタス五三
電話　セントラール　三〇五四
カイシヤポスタール　三二八
御節發賣元
前田吉太郎

祖國便り

學士號廉賣に等しいと 日本醫大問題となる

講習終了書惡用の學士濟稱で今を時めく憲政會の幹事長中原德太郎博士を學長とする日本醫科大學はこの昇格當時貧弱な內容を持ちながら學長が與黨の政治的地位を利用し文部當局を動かし、昇格までこぎつけた事が端なくも識者の指彈の的となり居たるが、滿つるを知らぬ慾心の肩書を過信する患者心理の弱點を利用し「學士號」を金三百圓也で賣るに等しい事實あると云ふので、今や醫師界の大問題となつてゐる。

精神科學者の全國的大會

▲わが國で最初▼

學問の進歩發達は下らぬ角突き合ひをやめ共同研究にあると云ふので、吾國心理學界の元老松本亦太郎博士を中心に全國六十餘名の心理學者並に斯學に關係ある醫學者社會學者其他の人々約八千餘名が集つて、去る四月七日から四日間帝大法學部新館で精神科學者大會が開催された。精神科學に關する全國的の大會は之が最初と。

大阪高醫四月に開校

大阪梅田病院長吉津度氏の計畫して居た財團法人大阪高等醫學專問學校は二月一日文部大臣の認可を得たので四月から東淀川區の假校舍に於て開校した、修業年限五年入學資格中學卒業生、校長は京大名譽教授足立新太郎氏。

六年計畫で日本案內記

奥羽の卷から刊行

鉄道省ではこれ迄日本案內記の完全した物がないのを遺憾として、六ケ年計畫費用三十萬圓を投じて完成することとなり、着々計畫を進めて居た結果三月廿三日東京驛ホテルに地理學の權威者山崎博士、氣象學の岡田博士、歷史の黑板博士等が集まり種々協議した結果、全十二卷を編纂することになり都合上第一回を第四卷奥羽の卷から刊行する事になつた。

世界的ゴルフ場の敷地決定

—靜岡縣下小室村に—

大倉喜七郎男の發企で靜岡縣田方郡小室村川奈字燈明平高原に世界的大ゴルフ場を建設すべく地元小室村當局と交渉中のところ、承知したので該敷地を借るか買收するか何れとも決定し、直ちに着工する筈。尙大ホテルも建設の計畫

要塞地帶撮影の怪外人

兵庫縣三ノ宮署では本部外事係及び神戸憲兵隊の應援を得てチェッコスロバキヤの新聞記者と稱する某外人を三日引致し、秘密に取調べて居るが、同人は數日前下關經由來神したもので、其の途次宮島附近の要塞地帶を撮映した嫌疑である。

雲海丸沈沒す

濟州島沖で遭難

四月五日午前一時京城無線電信局着電によれば、四日午後十一時半全羅南道濟州島南百九哩沖に於て、神戸中村組所有汽船台灣航路就航貨物船雲海丸（二七〇〇噸）は遭難し浸水、船體は救助の見込みなしと。（因に來伯移民船雲海は第二雲海丸であつた）

女學生の家出

長野縣松本市源池一二五六上條哲三女長野縣立女學校三年生上條和子（一六）は父が商賣に失敗し、その兄弟七人暮しで母の內職から學校へ通つて居るのは氣の毒であるから東京へ行つて稼いで暮しの足にしやうと家人に無斷で家出し雨の蒲田附近をずぶぬれ彷徊中を交番巡査に取調べられ保護の上鄕里親元へ照會中

最近十年間に處分された銀行

—七十四行—

大藏省調査にかゝる大正五年以降昭和二年二月末迄の間に營業の免許の取消又は停止を命ぜられた銀行の數は普通銀行五十九、貯蓄銀行十五計七十四行で、是等銀行の預金受入額は合計七千百卅九万三千四百二十八圓である。

大尉の妻及び七名溺死

去る四月四日吳港內で森本回漕店の發動機船萬歲丸（九噸）は乘客廿三名を載せて航行中吳市運送業赤松某所有の客船丸一丸（三五〇）と衝突し萬歲丸は一たまりもなく沈沒、乘客十六名は救助したが、軍艦扶桑乘組杉岡幸七大尉の妻しな（二六）外六名は遂に溺死した。

新黨組織か

憲政會の中野正剛氏

憲政會の中野正剛氏は淸瀨一郎、林田亀太郎、加藤鯛一氏等憲革兩派の有志十數名を招待して晩餐會を開き新黨組織談に花を咲かせた

電報料を節約すべく傳書鳩を使用

郵船爭議で神戸橫濱間を

郵船爭議もなか〳〵其の調停を見ず、今度橫濱神戸兩本部の連絡を敏速にし且電報料を節約する爲に四十羽の傳書鳩を使用することとなつた。

土崎港の大火

全半燒八十三、倉庫三棟

秋田縣土崎港町下酒町から四月三日午前一時發火し、附近町村の消防隊の努力も水利の便惡しく、甲斐なく只傍觀するに至り、遂に全燒七十九戶、半燒四戶、外に秋田銀行及四十八銀行所有倉庫三棟を燒失、午前三時漸く鎭火した原因損害取調べ中。

實母を刺す

狂へる遞信技手の慘劇

去る四月四日夜十時頃、東京府下中野町居住、遞信省工務局技手上田太助（三五）は自宅六疊の間で突然精神に異狀を呈し實母ふで（七二）の肩先に出刄庖刀で斬付け重傷を負はせ自分も腹に突立てゝ自殺を圖り生命覺付かず原因は神經衰弱の陽氣の加減であると。

中澤炭坑爆發し十六名慘死を遂ぐ

三月廿三日北海道空知郡歌志內村の中澤炭坑が突然爆發し入坑中の係員一名工夫十五名は慘死を遂げた。

測量、製圖、建築、電氣及諸機械のすえ付及計畫設計

凡て迅速、正確、責任を以て御相談に應じます。電氣及諸機械の据付には本國鐵道省に多年勤務せる田中技師が擔當し、尙和田正朔氏も土木方面を擔當して居ます

北西線プロミッソン驛郵函八
土木技師　野村秀吉

アラサツバ驛唯一の邦人宿
御旅館　伊藤
ノロエステ線アラサツーバ驛前
館主　伊藤作太郎

雜貨小間物
雜穀仲買　吉田兄弟商店
ノロエステ線ビリグキ町
郵函　二七二番

農產物買入
雜穀
仲買商　岡島仁郎
ソロカバナ線、セルケーラセーザ驛
郵函拾四番

北西線ペンナ驛
吉野旅館
雜穀珈琲棉
仲買商　右田辰彥

Hotel Nippon
ペンナ
Caixa Postal, 71
ペンナにお出での方には
ホテル　ニッポン
ペンナ驛カフエランヂャ町汽車道通り
副島商店ホテル部

CASA TOKIO
材木家具商
カーザ東京
聖市、ルアー、バロン、デ、イタペチニンガ二〇
杉本芳之助

MARCENARIA JAPONEZA
Massagi Koga
BAURÚ
家具製造並に販賣
バウル市八月一日街六ノ三番（シネーマ眞前）
古賀政次

當研究所特製品
トラホーム撲滅には一番よくきく……タカ點眼藥を齒牙を純白にし口腔衛生を重んぜらるゝ方は芳香衛生ハミガキを
胃腸病に患まるゝ方は……タカ胃散を
痛みある腫物に苦しまるゝ方はタカ膏藥を御試用下さい
（專賣特許品）
其他小供の强壯劑としてポリビタミーナ、消化不良による諸病にポリヂアスターゼをお勸め致します
（二品共大正十四年專賣特許）
尙藥品、殺虫、殺菌劑及び醫療機械類の御求めに應じます
聖市アッセンブレア街三一
大河內藥化學研究所
電話　セントラル　四八一九番
▼取次所　各地邦人商店にお尋ね下さい

土地賣却
▼位置　北西線ラウロ、ミイラ驛の一キロ近くにあり（市街豫定地隣接地）
▼高度　五百五十乃至六百メートロス
▼區劃　コレゴよりエスピゴン迄五アルケルス以上なれば賣却す　長サ約二キロ半
▼拂込方法　三分の一支拂と同時に地權を渡します殘金は一九三〇年八月三十一日迄の四ケ年に割當て年賦拂と致します
▼地主は附近一帶の珈琲園の持主である有名なドットル、フエゲーラ、デ、メッロ氏でありますから御心配に及びません百二十アルケールしかありませんから急ぎ申込下さい
▼御照會の節は左記へ
ノロエステ線リンス驛　郵函二四四
畑野宗太郎